



## 64mm LCD メーターキット 取扱説明書

商品番号 : 09 01 0211  
適応車種 : マグナフィフティ  
フレーム番号 : AC13-1000010 ~

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

### ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当LCDメーターは、下記の事に注意してご使用下さい。

- ・表示部に使用している液晶の性質として、長時間直射日光を受けると液晶画面が黒くなります。なるべく液晶部分に直射日光が当たらない様に気を付けて下さい。万が一、黒くなってしまった場合は、メーター本体を直射日光から避け、冷やして下さい。しばらくすると正常に戻りますが、真夏等の強い直射日光下で長時間放置した場合はシミの様な後遺症が残る等の支障が生じる可能性がありますので、特に気を付けて下さい。
- ・本商品は完全防水ではありません。湿度の高い状態でご使用になりますと、本体内に湿気が侵入し画面が曇ってしまう可能性があります。
- ・バッテリー、プラグ、配線の状態（取り回しや接続状況）によってはメーター数値表示の乱れ等、不具合が生じる可能性があります。バッテリー状態の悪い車両やバッテリーレス車両ではメーター電源電圧が安定しておりません。そのためエンジン始動等に、一瞬数値表示に乱れを生じる事がありますが故障ではありません。また、メーター電源電圧の変化が大きい車両や点火系ノイズの激しい車両では、メーター内部の電気信号が乱れ、距離表示や回転数表示等に間違った情報を表示してしまう可能性があります。
- ・装着時は各部（特に配線、点火系、バッテリー）の点検をしっかりと行い、装着後も必ず定期的に点検をして下さい。

### 走行速度表示機能について

- ・運転者に注意を促す速度警告灯付きの車両に取り付ける場合、スピードメーター変換後はその機能が無くなりますのでご注意ください。走行中は法定速度を守り安全走行して下さい。
- ・オドメーター機能（走行距離計）
- ・最高表示速度は、250km/h。

### エンジン回転数表示機能について

- ・LCDタコメーターはハイテンションコードまたはイグニッションコイルのどちらかより点火パルスを読み取りエンジン回転数を表示する電気式タコメーターで、最高表示回転数は30,000rpmです。



### 注意

下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法的速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。  
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。  
(部品の脱落の原因となります。)



### 警告

下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。  
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。  
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。  
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて戴きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

## ～ 商品 内 容 ～



番号	部 品 内 容	数量
1	メーターASSY.	1
2	ピックアップコードB	1
3	電源コード	1
4	ピックアップコードA	1
5	メーターサブコード	1
6	スピードメーターステ-	1
7	熱収縮チューブ	1
8	プレーンワッシャ 5mm	4
9	スプリングワッシャ 5mm	2
10	フランジナット 5mm	2

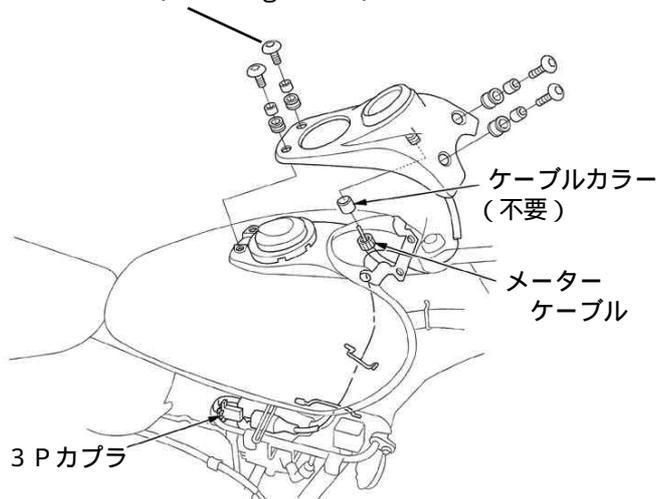
## ～ 取 り 付 け 要 領 ～

1. R.フロントカバー2本のボルトを車載工具の六角棒レンチ5mmを使用して取り外し、スピードメーターコード用の黒色3Pカブラを切り離します。

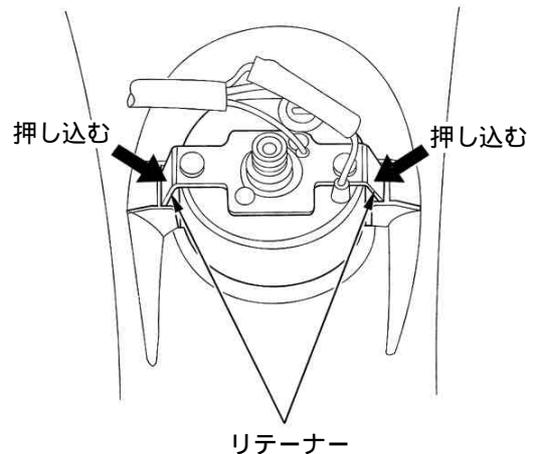
2. メーターパネル4本のボルトを抜き取り、メーターカバーをフェルタンクより浮かせた状態でスピードメーターケーブルを取り外します。

この時、メーターケーブルとスピードメーターのケーブル接続部分にカラーが入っていますので注意して下さい。尚、当製品には、このカラーは使用しませんので保管しておいて下さい。

10N・m(1.0kgf・m)



3. スピードメーターコードを引き上げメーターパネルを取り外します。スピードメーターのリテーナーを内側に押し込んでスピードメーター本体を抜き取ります。



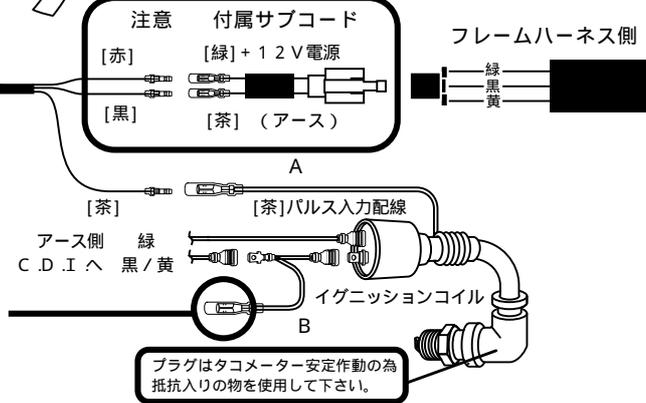
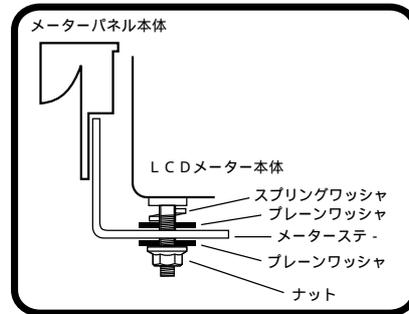
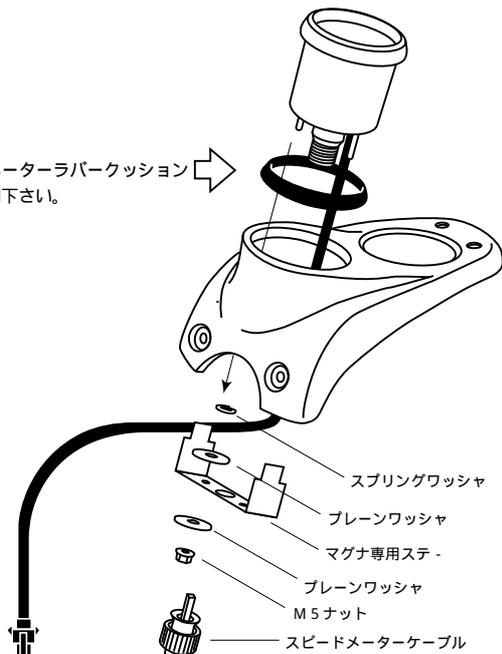
4. スピードメーターに付いているマウントラバーを外しキット内のメーターカラーに取り付けます。メーターカラーにキット内スピードメーターを差し込みメーターパネルにセットします。

5. スピードメーターステ-をスプリングワッシャと六角ナットで取り付けます。

6. メーターコードとサブコードのギボシを接続しメーターカバーを取り外しと逆手順で組み付けて下さい。

7. 組み付け終了後スピードメーターの指針が作動する事を確認して下さい。

純正のメーターラパークッション  
をご使用下さい。



**注意**

付属のメーターサブコードの配線色とメーター側の配線色は異なってきます。取り付けの際間違わないようお願いいたします。  
+ 逆につないでしまうと、メーター側の故障の原因になります。

メーターハーネス側	付属サブハーネス側	フレームハーネス側
[赤] + 12V電源 ←	[緑] + 12V電源 ←	[黒] + 12V電源
[黒] (アース) ←	[茶] (アース) ←	[緑] (アース)
		× [黄] 純正メーター照明 使いません

**A、ハイテンションコードに巻きつける方法**

- ・ハイテンションコードからプラグキャップを外します。
- ・付属のパルス入力配線Aをハイテンションコードに約5周巻き付け、絶縁テープ等でたるまないよう仮止めて下さい。後で熱収縮チューブを通しますのでテープの巻き過ぎで太くならないように注意して下さい。
- ・テープで配線を仮止めている部分に熱収縮チューブを通し、ドライヤー等で熱しチューブを収縮させて下さい。チューブの収縮温度は90℃以上で、約50%の内径まで収縮します。
- ・最後にプラグキャップをしっかりと付けて下さい。

**B、イグニッションコイルに直接接続する方法**

**注意**

付属のパルス入力1次側配線は、タコメーターの作動が高回転時乱れが生じる等の症状が起こった場合のみ1次側で入力を取って下さい。

**SPECIAL PARTS TAKEGAWA**

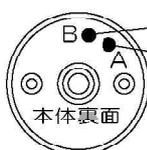
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号  
TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059  
URL <http://www.takegawa.co.jp>

## ラージLCDメーターαのタコメーター設定について

本ページは各種キット共通内容となっております。  
お客様のバイクに合わせた値にメーター設定値を切り替えて下さい。

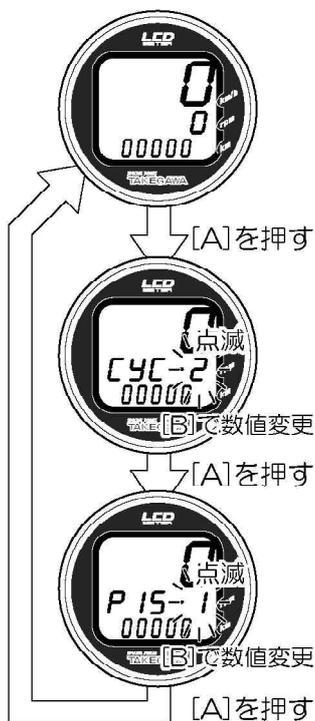
車名	商品番号	CYC-	PIS-
マグナ50	09-01-0211	2	1
スーマー (キャブレター車)	06-02-0202/09-01-0056	2	1
TODAY (キャブレター車)	06-02-0303	2	1
AF62 ディオ	06-02-0301	2	1
スペイシー100	06-02-0305	2	1
ディオ (2サイクル)	06-02-0302	2	1
JOG (2サイクル)	06-02-0304	2	1
XR50/100モタード	09-01-0288	2	1
XR250モタード	09-01-0055	2	1
KSR110	09-01-0054	2	1
KSR50/80	09-01-0054	2	2

### タコメーターの設定変更手順



● 数値変更ボタン(文章中[B]ボタン)  
● 設定項目切り替えボタン(文章中[A]ボタン)

車両のメインキーをON (車輛によってはエンジンを始動) にし、メーターの電源が入った状態 (液晶表示がある) にしてください。



[A]のボタンを押します。  
画面に「CYC-」という表示が出ます。  
この時、[B]のボタンを押す度に「CYC-2」⇄「CYC-4」と交互に表示が変わります。

ご自分のバイクに合わせ、どちらかを選択してください。  
「CYC-」の選択が完了しましたらもう一度[A]ボタンを押してください。

画面に「PIS-」という表示が出ます。  
この時[B]のボタンを押す度に「PIS-」の右側の数表示が変わります。  
上記で「CYC-2」を選択した場合は1⇒2⇒3⇒4⇒1⇒2⇒・・・となります。  
また「CYC-4」を選択した場合は1⇒2⇒3⇒4⇒5⇒6⇒8⇒1・・・となります。  
ご自分のバイクに合わせ、選択してください。

すべての設定が完了し、[A]ボタンを押すと設定変更画面から標準画面に戻ります。

### エンジン種類[CYC-]、気筒数[PIS-]について

ここでの[エンジン種類、気筒数]はクランクシャフト1回転回りの発火回数を表すための例えです。  
ですから、実際のバイクのエンジン種類や気筒数とは異なる場合があります。

← 0.5回はクランクシャフト2回転に1回発火を表しています。

クランクシャフト1回転あたりの発火回数	0.5回	1回	1.5回	2回	2.5回	3回	4回
CYC-2 (2サイクルエンジンの例え)		PIS-1		PIS-2		PIS-3	PIS-4
CYC-4 (4サイクルエンジンの例え)	PIS-1	PIS-2	PIS-3	PIS-4	PIS-5	PIS-6	PIS-8 (PIS-は気筒数の例え)

●ご自分のバイクの発火回数分からない時

エンジン種類は[CYC-2]固定で、まず気筒数を[PIS-4]に設定し、エンジンを軽くふかして表示数値を確認してください。

気筒数[PIS-4]では大抵実際よりも少なく表示されますので、様子を見ながら PIS-3 → PIS-2 → PIS-1 と数値を変えて行くと表示数値が増え、丁度良い設定が見つかります。

モンキー系エンジン、エイブ系エンジン、その他4サイクル1気筒、4気筒のエンジンの多くがクランクシャフト1回転あたり1発火ですので設定は[CYC-2、PIS-1]となります。

2サイクル1気筒のバイクの一部やインナーローター装着車では、クランクシャフト1回転あたり2回発火[CYC-2、PIS-2]の場合があります。